



アカンサス

平成31年(2019年)

3月号②

発行

能美市立辰口中学校

波佐尾 雅美

【校是：責任 友愛 努力】

めざす学校・生徒像

た 楽しい学校
 つ つながり合い高め合う生徒
 の 伸びゆく能美市を支える生徒
 く くじけずやり抜く生徒
 ち 力いっぱい生きる生徒

巣立つ者、送る者の思いが一つになった温かい卒業式でした。校歌の歌声がたいへん力強く、生徒・職員はもちろん保護者、地域の皆様の辰口中学校愛を感じました。

第72回 卒業証書授与式



おめでとう!

170名 笑顔で卒業

◆◆校長式辞より◆◆

この二月に、本県出身で柔道女子オリンピック金メダリストの松本 薫さんが、現役引退を発表しました。闘志あふれる柔道で「野獣」と呼ばれ、多くの人に勇気を与えてきた松本 薫さんですが、その記者会見での発言にとっても驚かされました。「自分にとって柔道は、目標、夢ではあったけど、好きというわけでもなかった。」というものです。辛い練習に耐え、一生懸命努力を重ねオリンピックのメダルを手にした松本 薫さんなら「柔道が大好きのはず」だと誰もが思っていたでしょう。「柔道は、好きというわけでもなかった。」この言葉に、正直な人だなあという感想と、そういうことは案外多いのかもしれないという思いを持ちました。

「好きなことを見つけない。夢中になれるものを見つけない。」と思っている人が多いと思います。それを見つけれれることは幸せなことですが、そうでなければならぬというわけではないでしょう。松本 薫さんのように、一生懸命頑張った結果を残したけれど、振り返ったら「好きなわけではなかった」、こういったことはあるのです。

私は、皆さんに「夢や目標を持ってほしい。」「好きなこと、やりたいことを見つけてほしい。」「なりたい自分になってほしい。」と願います。でも、それは「今」でなくてもいいのです。時間をかけてもいいのです。好きなものがまだ見つからないのなら、今日の前にあること、自分の果たすべき役割やしなければならぬことをとにかく頑張ってみる、そうしているうちに、好きなものが見つかったり、好きでなかったものを好きになったりすることがあるのです。見つかっている人はそれに向かい、また、今、見つからなくても、日々、目の前のことをとことんやる、やり遂げる。それが、自分を鍛え、成長させていくのです。これからの社会がどのように変化しようとも、まず、目の前のことを頑張る。そうやって、よりよく、力強く生き抜いてほしいと願っています。

◆PTA会長中川 里香様よりご祝辞をいただきました。保護者の気持ちがよく伝わりました。一部を紹介します。

3年間という長い人生のごく一握りの時間の中で、皆さんは立派に成長されました。時に皆さんが心に傷を負った時、一番わかってほしいことを私たちは上手に聞いてあげることができず、突き放してしまうこともありました。でも、どうか知っておいてください。皆さんを育て教え導き、今、隣で見守っているご両親は、自分のことでは泣けなくても、皆さんのことでは泣けます。皆さんのことになると、いくらでもがんばれます。雨が降り出せば傘は持っていったかな、課題はちゃんと提出したかな、急に無口になれば何があったんだろう、私たちが口うるさく言うのは皆さんを守り支えたいから、ただそれだけなのです。 <中略> 最後に、卒業生のみなさんに保護者として言わせてください。生まれてきてくれて本当にありがとう。そして、こんなに大きく成長してくれてありがとう。これからも一緒に笑ったり、厳しく叱ったりすると思いますが、家族として同じ場所で大切な時間をもうしばらくの間一緒に歩み続けさせてください。そして、いつか大人になった皆さんに、私たちの子どもでよかったと言ってもらえるように、日々がんばっていきますので、これからもどうぞよろしく願います。今日は本当に卒業おめでとう。

日々の写真は、辰口中学校ホームページに載せてありますのでご覧ください。
http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~tatsukuj/NC2/htdocs/index.php?page_id=0

辰口中学校

検索

★今年度も本校の教育活動に理解とご協力をいただきありがとうございました。来年度もどうぞよろしく願いいたします。